

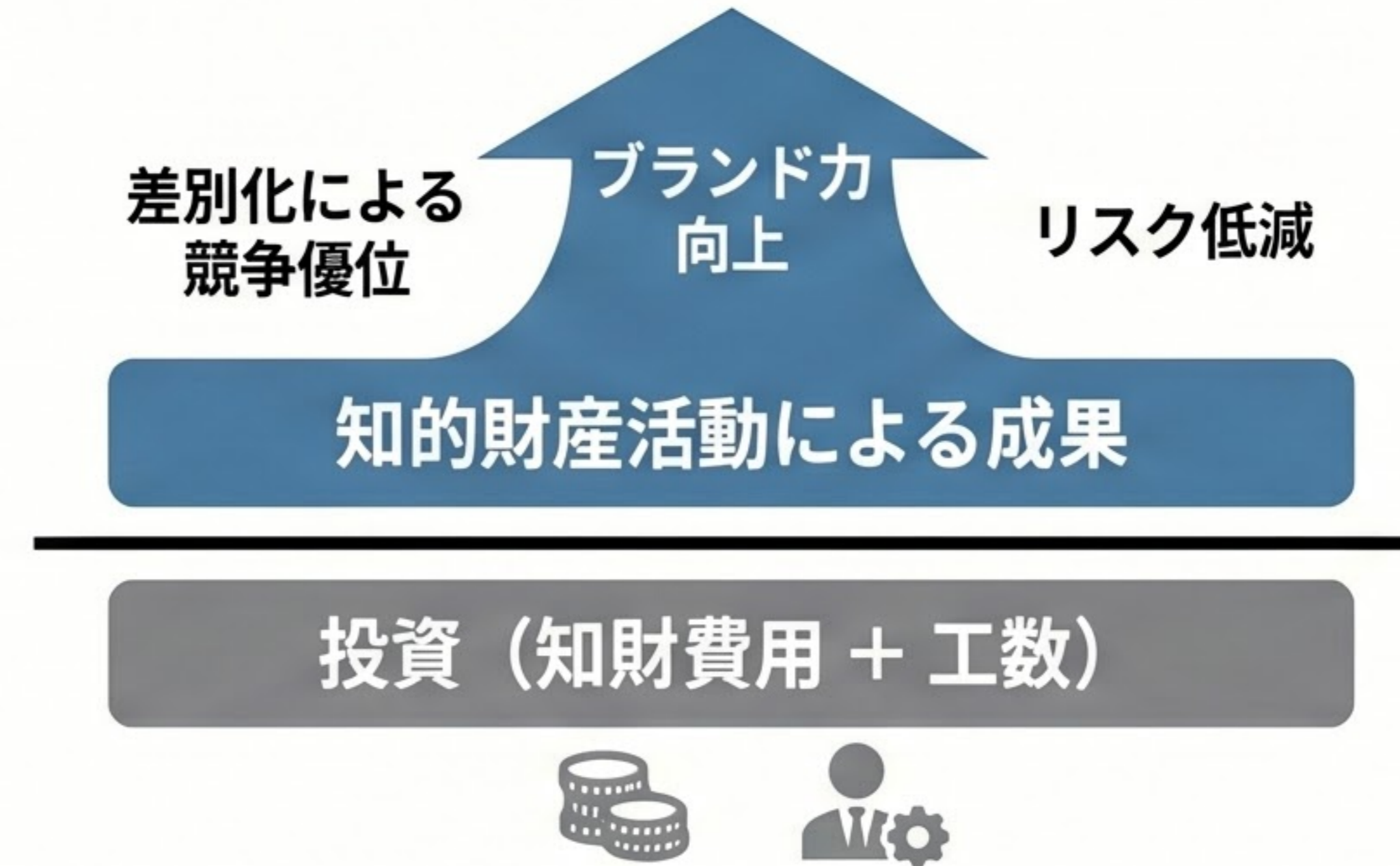
荏原製作所の「知財ROIC」：知財活動を企業価値へつなげる独自の経営指標



知財、財務、人事の責任者が連携し、知財投資が財務指標（時価総額等）へつながる透明性の高いガバナンスを実践。

知財ROICの概念と目的

知財ROIC =



投入された費用や人件費（工数）に対して、知財活動がどれだけ事業収益や競争優位に貢献したかを測る独自指標です。従来の「守り」の権利管理から「事業利益」への接続を目指します。

実装のタイムラインと進化



知財活動成果を因果要因別に数値化。
2021年を基準とした相対値で表示し、知財ROICツリーを用いて事業利益や回転率との関係を整理。



カンパニー別算出の検討と運用高度化。
事業特性に応じた改善策を検討するため、指標の粗度を上げる段階へ移行。

2024年実績の分析
多くの項目で「改善」も、一部に課題

- ↑ 全体的向上
- ↓ 差別化による競争優位 (権利化成果減少により若干低下)
- ↔ 知財リスク低減 (横ばい)

今後の注力領域：成果量だけでなく「効率性」の追求。投入資源に対する成果の効率が重要。



「知財・無形資産ガバナンス表彰」で優秀賞を受賞。
独自の知財ROICの浸透と、AIを活用した「知財プロアクティブ活動」による先見的な提案が評価された。

財務目標への寄与

2026年12月期
連結業績計画

売上収益	1兆200億円
営業利益	1,250億円
ROIC	12.0%
ROE	16.5%

知財活動を含む無形資産への投資を通じて、過去最高を更新し続けるグループの収益性と資本効率の最大化を目指します。